



和歌山の警察

—みんなの安全と楽しい暮らしを守ります—

2019

警察署の仕組み



- 警務課** 警察署の事務のとりまとめや困ったことの相談の受付などをします。
- 会計課** おとし物や拾った物の取扱いなどをします。
- 生活安全課** 子どもの非行を防止したり、人々がいろいろな犯罪にあわないようにします。
- 刑事課** いろいろな事件を調べて、犯人を捕まえたり、暴力団の取りしまりをします。
- 地域課** みんなの町の安全を守るためにパトロールをしたり、家庭を訪問します。
- 交通課** 交通事故を防ぐために交通ルールを知らせたり、交通違反の取りしまりなどをします。
- 警備課** 台風や地震などの災害から人々をまもりまします。

数字で見る和歌山の警察

(2019年1月1日現在)

警察官 2,183人	職員 325人	警察署 14か所	交番・駐在所 154か所
警備艇 1隻	パトカー 134台	白バイ 32台	ヘリコプター 1機

交番・駐在所の一日



みんなが安心して通学できるように、学校の先生や地域のみなさんと協力して安全を守ります。



みんなの家庭や会社、一人で暮らしているお年寄りの家庭などを訪ねて、犯罪にあわないように連絡します。



困ったことの相談や落とし物などを受け付けたり、道にまよった人への案内をします。



事件や事故がおこればすぐに現場にかけつけます。



みんなが眠っている真夜中も、安心して休めるようにパトロールをします。

事件発生

110番の仕組み

110番通報6つのポイント

110番通報



受付



警察本部通信指令室

指令



「はい! 110番警察です」

- 1 「何がありましたか？」
(どろぼう、交通事故など)
- 2 「どこで？」
(目標になる大きな建物など)
- 3 「いつ？」
(今、一時間前、昨夜)
- 4 「犯人は？」
(人数、特徴)
- 5 「どんなようすですか？」
(逃げた方向、けが人など)
- 6 「あなたの住所、名前は？」

犯人を追跡

現場へ急行

みんなで守ろう! 交通ルール



飛び出しは危険!

一度止まって
安全確認をしよう。



自転車に乗るときは

- 自分の体にあった大きさの自転車に乗ろう。
- ヘルメットをかぶろう。
- 歩道の車道寄り、歩道のないところは道路の左はしを走ろう。
- 交差点は、一時停止をして右と左、そして後ろを確認しよう。
- 信号を守ろう。
- 夕方や夜は、必ずライトをつけよう。
- 二人乗りや傘差し運転はしない。

道路を歩くときは

- 歩道を歩こう。
- 歩道のない所は、道路の右側を歩こう。
- 道路へは飛び出さない。
- 一度止まって安全を確認しよう。
- 赤信号の時は絶対に横断しない。
- 青信号でも左右を確かめてから横断しよう。
- 近くに横断歩道があれば、横断歩道を歩こう。

きしゅう君の家



和歌山県警察本部
和歌山東警察署

「きしゅう君の家」を知ってる?

知らない人から追いかけられたり、どこかへつれていかれそうになったとき
など、ボクのマークのついている家やお店などに
駆け込むんだよ。



きしゅう君と7つの約束をしよう

- 1 グループで登下校しよう!
- 2 出かけるときはお家の人に声をかけよう!
- 3 人通りの多い道を歩こう!
- 4 外ではひとりで遊ばないようにしよう!
- 5 見知らぬ人の車には絶対乗らないようにしよう!
- 6 危険な時は大声をだそう!
- 7 近くの人に助けを求めよう!